

平成 26 年度 栗島浦小中学校 学校ビジョン

1 わが校のミッション（社会的な使命・存在意義）

児童生徒に対して	地域社会に対して
○学校教育目標を達成する ・知・徳・体のバランスのとれた育成 ・義務教育終了段階での自立を目指した指導	○地域コミュニティの中核となる ・児童生徒、職員の地域行事への積極的な参加 ・地域の伝統文化の継承、交流の拠点

2 学校教育目標

- ・自ら進んで学習する子ども（知）
- ・思いやりを持ち助け合う子ども（徳）
- ・めあてを持って体をきたえる子ども（体）

3 学校経営の方針

- ・極少人数、小中併設のよさを生かし、児童生徒の資質・能力を9年間を見通してはぐくむ。
- ・義務教育終了段階までに、将来にわたっての生きる力の基礎と郷土愛をはぐくむ。
- ・保護者や地域住民の参画による地域とともに歩む学校づくりを推進する。

4 年度の重点課題（重点目標）

教育課題	・個に応じた指導による学力の向上 ・9年間を見通した社会性の育成	経営課題	・しおかぜ留学に関わる関係機関との効果的な連携及び留学生保護者対応
------	-------------------------------------	------	-----------------------------------

5 学校ビジョン（当面の具体的目標）

目指す学校像	○地域の特色を最大限に生かし、地域とともに歩む信頼される学校 ・児童生徒一人一人が安心して過ごし、よさや可能性を発揮できる学校 ・教職員がいきいきと活動し、やりがいをもって働く学校
目指す児童生徒像	○他者と積極的に関わり、協力しながら最後までやりぬく児童生徒 ・主体的な学習態度、基礎的・基本的な学習内容を身に付けている児童生徒 ・運動を好み、望ましい生活習慣が身に付けている児童生徒
目指す教職員像	○学校の目標を共有し、小中が連携し、協働体制で課題解決に取り組む教職員 ・子どもの心に寄り添い、分かる授業の実現を目指し研修を重ねる教職員 ・積極的に地域と関わり、保護者・地域住民に「いねい」に対応する教職員

6 重点課題を達成するための努力事項、実践事項

(1) 率先垂範に基づく指導（教職員としての基本姿勢）

- ・教職員自らが模範となり、時と場に応じたあいさつ、身だしなみ、言葉遣いなどに気を配る。

(2) 個に応じた指導の充実

- ・極少人数のよさを生かし、Webの活用、授業のUDL化など、個別の指導計画に基づき対応する。
- ・「教えて考えさせる3ステップの授業」に基づく研修体制を継続し、全員が研究授業を実施する。
- ・不登校の解消・未然防止、特別な支援を要する子への対応などはチームで継続して取り組む。

(3) 小中が一体となった学校運営

- ・学校行事や児童生徒会活動などにおいては、教職員も一体となって準備・運営を進める。
- ・“小中、地域、将来”3つのつながりを重視したキャリア教育を9年間を見通し系統的に推進する。

(4) 地域との積極的な交流

- ・地域の教育力を積極的に活用するとともに、全校で地域行事への協力と参加を進める。

(5) 実効性のある学校評価と情報発信の一層の充実

- ・いじめ対応を含めて、各部門でPDCAサイクルを生かして重点目標の具現化を進める。